

自動車整備業界におけるCO2排出量の削減の取り組みを推進

エア漏れをなくして

電気代削減

省エネ・省コスト

CO2排出量削減

を実現しましょう！

ご存知ですか？

約6割の工場で圧縮エア漏れが発生しています！

自動車整備業界における環境対策として、今からでもすぐ出来る効果的な取り組みが「**工場内のエア漏れ対策**」です。日本自動車機械工具協会の調査では、約6割の工場で配管、リール、ホース、カプラなどからエア漏れが確認されています。まずはお客様の工場でどれくらいエア漏れが発生しているのか調べてみませんか？

工場内を巡回してエア漏れの発生箇所をチェック！

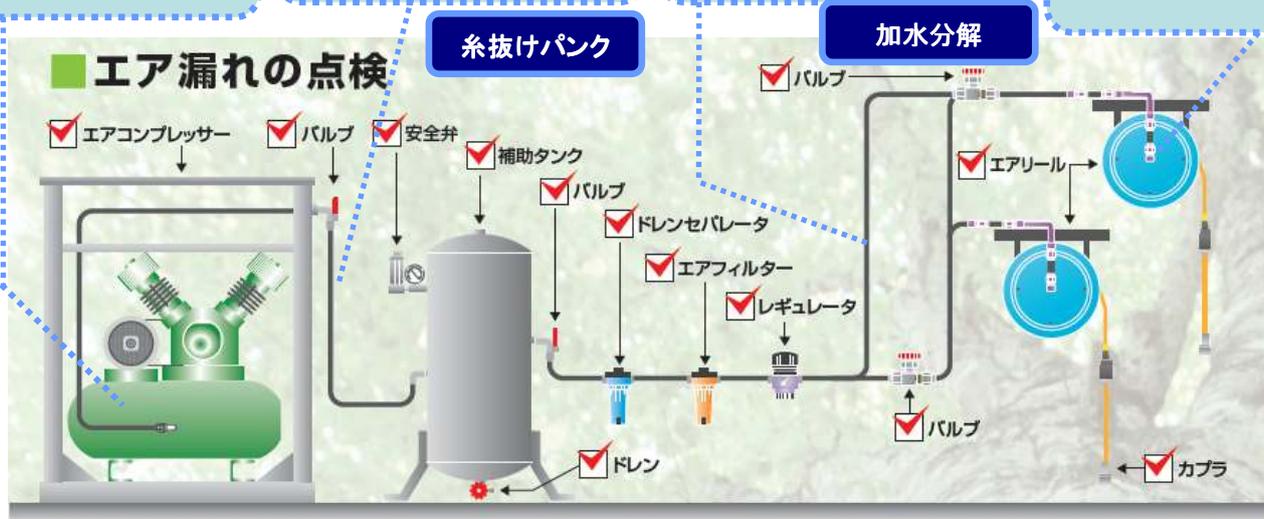
エア漏れをなくすことは消費電力を抑え、CO2排出量を削減するだけでなく、**経費の削減**にもつながります。エア漏れの発生箇所からエア漏れ量と年間損失電力費を計算し、改善ポイントを確認しましょう！

エア圧の低下や異常振動はありませんか

ホース内の糸が抜け、エア漏れが発生していませんか？

ホースのウレタン組織が水と反応して分解してしまいエア漏れが発生していませんか？

リールやホースの接続部はエア漏れが発生しやすいです！



エア漏れ量の目安と年間損失電力費の目安

調査方法	聴覚	エア漏れの目安	年間損失電力費の目安	
		L/min	1ヶ所(円)	10ヶ所(円)
30cm 離れて	かすかな音	1	220	2,200
	スー音	2	440	4,400
	シュー音	10	2,200	22,000
	強いシュー音	20	4,400	44,000

配管などのエア漏れ箇所から30cm離れて強いシューという音が聞き取れれば、約20L/minのエア漏れがあることとなります。また、これをなくすことで年間のCO2排出量を100kg削減することができ、電気代に換算すると**約44,000円削減**できることとなります。

※860L/minの圧縮機(7.5kW)を1日8時間・月20日使用し、東京電力のCO2換算係数で算出した場合の金額